

評価指標に関するアンケート調査結果

令和7年2月

目次

1	関係課長職者向け調査	P 1
2	市民及び町会長・自治会長向け調査	P 1
3	説明会の概要	P 1
4	アンケートの概要	P 5

1 関係課長職者向け調査

- ・説明会：11月6日（水）
- ・対象：企画政策課長、公共施設マネジメント推進担当課長、地域安全課長、地域福祉課長、自立生活支援課長、介護福祉課長、子育て支援課長、経済課長（農業委員会事務局長）、コミュニティ文化課長、環境政策課長、都市計画課長、道路管理課長、まちづくり推進課長、交通対策課長、区画整理課長、学務課長、生涯学習課長

2 市民及び町会長・自治会長向け調査

- ・第1回説明会：11月13日（水）午後7時～午後9時
場 所：市民会館・萌え木ホール（商工会館3階）
公 募 市 民：回答人数6／参加人数20（白紙及び棄権含む未回答14）
公募町会長・自治会長：回答人数2／参加人数4（白紙及び棄権含む未回答2）
- ・第2回説明会 11月15日（金）午後7時～午後9時
場 所：東小金井駅開設記念会館・マロンホール
公 募 市 民：回答人数7／参加人数15（白紙及び棄権含む未回答8人）
公募町会長・自治会長：回答人数2／参加人数2
- ・第3回説明会 11月16日（土）午前10時～午前11時30分
場 所：市民会館・萌え木ホール（商工会館3階）
公 募 市 民：回答人数8／参加人数17（白紙及び棄権含む未回答9人）
公募町会長・自治会長：回答人数1／参加人数1

3 説明会の概要

アンケートの目的、背景、概要及び評価項目の構造について、スライドの投影及び配布資料を用いて説明・質疑応答を行い、その後、アンケート調査を実施した。また、第1回説明会において、項目の内容に関する意見が多く出たため、第2回及び第3回説明会では補足資料を追加で配布した。

■評価指標

大項目	中項目	小項目
交通機能	通行機能	①骨格幹線道路網の形成
		②都市間ネットワークの形成
		③円滑な物流の確保
		④交通処理機能の確保
	アクセス機能	⑤救急医療施設へのアクセス向上
		⑥交通結節点へのアクセス向上
		⑦避難場所へのアクセス向上
空間機能	都市空間機能	⑧都市環境の保全
		⑨良好な都市空間の創出
		⑩公共交通の導入空間
	都市防災機能	⑪緊急輸送道路の拡充
		⑫延焼遮断帯の形成
		⑬災害時の代替機能

市街地形成機能	土地利用の 誘導形成機能	⑭都市の多彩な魅力の演出・発信
		⑮生活空間機能の確保
		⑯生活道路の安全性向上
	都市機能	⑰都市骨格形成
		⑱街区形成機能
		⑲まちづくりへの貢献

■追加で配布した補足資料

項目名	内容	補足説明（小金井市の視点）
①骨格幹線道路網の形成	骨格幹線道路網への位置付けがある道路	小金井市都市計画マスタープラン（以下「都市マス」という。）の広域幹線道路に位置付けている都市計画道路（都市マス概要版P8参照）を骨格幹線道路と言います。市内では、五日市街道、東八道路、新小金井街道です。
②都市間ネットワークの形成	周辺自治体へアクセスする道路	隣接市に繋がっている都市計画道路を言います。具体的には、武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小平市、国分寺市、西東京市に繋がり、ネットワークが形成されます。
③円滑な物流の確保	物流拠点へアクセスする道路	港湾や圏央道周辺等の物流拠点を想定しています。市内には物流拠点はありますが、物流拠点に繋がることで、SNSの普及による物流ニーズの多様化に対応できます。
④交通処理機能の確保	将来交通量の推計とネットワークの検証	多様な交通需要に対応するため、将来の交通量が6,000台以上となる区間の道路を整備することにより、円滑な通行ができるようになります。
⑤救急医療施設へのアクセス向上	幹線道路と救急告示医療機関等の最短経路となる路線	医療拠点病院等（小金井太陽病院や桜町病院等）や第二次・三次医療施設（市内には無いため、近隣市の各々の近い病院）への到着時間が短縮されます。
⑥交通結節点へのアクセス向上	武蔵小金井駅、東小金井駅、新小金井駅の駅周辺等へのアクセス向上	交通結節点とは、駅やバスターミナル等を言います。市内の駅では、武蔵小金井駅、東小金井駅、新小金井駅があり、駅周辺へのアクセスが向上します。
⑦避難場所へのアクセス向上	広域避難場所、一時避難場所に接続する路線	広域避難場所（小金井公園、武蔵野公園、東京学芸大学、東京農工大学、多磨霊園）や一時避難場所（市内小学校、中学校等）に繋がり、迅速かつ安全に避難できます。
⑧都市環境の保全	環境負荷の低減、周辺道路の渋滞の解消に寄与	渋滞箇所における渋滞がなくなることで、自動車がスムーズに走ることができ、二酸化炭素の排出量が減ります。市内では、前原坂上や前原交番前交差点等で渋滞が発生しています。
⑨良好な都市空間の創出	みどりの拠点に接続する路線の整備による良好な都市空間の創出	都市マスで位置付けている、みどりの拠点（小金井公園、武蔵野公園等の大規模公園や大学）（都市マス概要版P10参照）に繋がることで、連続したみどりのネットワークが形成され、良好な都市空間が生まれます。

⑩公共交通の導入空間	公共交通不便地域の解消に寄与	公共交通不便地域とは、駅やバス停から一定の距離以上離れている地域を言います。新規のバス路線の可能性や、新しいモビリティが出てきた場合に対応が可能となる空間が生まれます。
⑪緊急輸送道路の拡充	緊急輸送道路になり得る路線	緊急輸送道路とは、災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路を言います。市内では、五日市街道、東八道路、新小金井街道、小金井街道、連雀通りです。
⑫延焼遮断帯の形成	延焼遮断帯に位置付けられている道路	延焼遮断帯とは、地震による市街地火災の延焼を阻止する機能を果たす道路、河川等と沿道の耐火建築物等により構成される带状の不燃空間を言います。市内では、都市マスで位置付けている延焼遮断帯（都市マス概要版P 12参照）を言います。
⑬災害時の代替機能	土砂災害に強い都市構造の実現に寄与する代替機能路線	土砂災害警戒区域（市内では国分寺崖線の一部の区域に指定されています）において、がけ崩れ等により道路が閉鎖された場合に、その道路に代わる都市計画道路があれば、災害に強い都市構造が実現できます。
⑭都市の多彩な魅力の演出・発信	観光拠点等にアクセスする道路	小金井公園内の江戸東京たてもの園や神社仏閣、文化財等の観光スポットにアクセスしやすくなります。
⑮生活空間機能の確保	バリアフリー法に基づく福祉施設等に接続する道路	福祉施設等とは、特別支援学校、病院又は診療所、老人ホーム等や、市役所等の官公庁施設を言います。そこに接続する都市計画道路ができれば安心して、安全に行くことができます。
⑯生活道路の安全性向上	スクールゾーンや抜け道となる生活道路の近傍の道路	スクールゾーンに指定されているエリアや、時間規制がされているエリアでは、通過交通を抑制する必要があります。それらのエリアを通る都市計画道路が整備されれば、生活道路への通過車両が少なくなります。
⑰都市骨格機能	中心拠点等のエリア内に接する路線	中心拠点等（都市マス概要版P 6参照）とは、駅周辺や商店街周辺を言います。拠点に接続することで、人が集まりやすくなり、にぎわい創出や滞留空間が生まれます。
⑱街区形成機能	木造住宅密集地域等を通過する路線	木造住宅密集地域とは、震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集している地域を言います。市内では、東町の一部地域や本町の一部地域に指定されています。
⑲まちづくりへの貢献	地域のまちづくりと一体となる道路	武蔵小金井駅北口での再開発事業や東小金井駅北口での土地区画整理事業等、まちづくりと一体となって整備する道路を言います。

■その他

- ・市民及び町会長・自治会長向け調査説明会での、参加者の主な意見の概要は、次のとおりである。また、アンケートにおいては、無回答又はアンケートの一部のみ回答した参加者がいた。

<主な意見概要>

アンケート内容について
・アンケートの趣旨と相違があった。アンケートの趣旨が見えてこない。なぜ優先整備路線を含むのか。 ・項目の内容が分かりづらい。項目ごとの違いが分からない。 ・道路の必要性だけでは答えられない。いらないという場合にはどう答えるべきか。いらないと書く欄がない。答えるのが難しい。このアンケートは道路が必要だという側のアンケートである。 ・路線ごとの意見が反映できない。路線ごとにどう評価するのか。点数化をどう行うのか。 ・2項比較は間違っている。 ・市独自の調査になってない。国分寺崖線（はけ）と野川への影響や暮らしと文化等がない。 ・市民に意見を聞くのはなぜか。皆がそう思っているとなってしまうのではないか。 ・次の世代やふるさとの概念が入っていない。 ・市民に意見を聞いたと言わないでほしい。 ・どちらも重要でないという場合にはどうすれば良いか。 ・アンケートに協力したいが、やり方が真逆である。 ・アンケートに答えられなかった。無回答、拒否の数を残してほしい。議事も残してほしい。何も答えていない人の意見はどうするのか。 ・採点の方法がこれで良いのか。平均して良いのか。作業に不安がある。 ・結果はどのように周知されるのか。いつまでに報告するのか。 ・このアンケートは市議会で議論されたのか。 ・アンケートは一般論ではなく、個別・具体的にやるべきだ。 ・郵便で届いたアンケートも内容が分からなかった。
環境保護について
・武蔵野公園、野川公園等の環境を壊したくない。 ・道路整備によりホテルがいなくなる懸念がある。 ・貴重な自然を壊さないでほしい。 ・2路線は、自然、環境、コミュニティの課題がある。 ・地球温暖化の影響、生物多様性、環境基本法についてどう考えているのか。
検証について
・2路線の検証とどのようなかわりがあるのか。第5次事業化計画の参考とするのか。 ・これまでの課題や成果を具体的に示してほしい。 ・市長は優先整備路線をいらないと言っている。検証するというのはどういうことか。 ・独自検証を市でやる必要がない。東京都に資料をもらってやるべきだ。 ・2路線の問題と未着手路線が混在していることに違和感がある。 ・2路線の検証は何をやっているのか。 ・市関係職員の割合はどうなっているのか。その中に市民はいるのか。

4 アンケートの概要

(1) アンケート調査

アンケート調査は、評価指標を階層化（大項目・中項目・小項目）し、階層ごとに指標を相対的に比べる一対比較（階層分析法）により、各指標の重みを求めるために行った。

大項目・中項目の重要度は、市関係職員にて行い、小項目の重要度は、市関係職員、市民、町会長・自治会長にて行い、アンケートをもとに、各項目の重要度に応じて未整備の都市計画道路を点数化することにより、相対的な評価を行うこととした。アンケート調査票のイメージは、次のとおりである。

アンケート調査票のイメージ

- ・次に示した3つの項目について、どちらがどの程度重要だと考えますか。
- ・下表のそれぞれの項目の組み合わせについて、あなたのお考えに近い項目に「○」を付けてください。

	か左 なり 重要	左 が 重要	や左 やが 重要	同左 じと 程度が 重要	や右 やが 重要	右 が 重要	か右 なり 重要	
① 交通機能								② 空間機能
① 交通機能								③ 市街地形成機能
② 空間機能								③ 市街地形成機能

(2) アンケートの集計結果

① 集計方法

回答者から得られた調査結果を、次の尺度と定義により集計し定量化する。

<重要性の尺度と定義>

■大項目の比較

	かなり左 なり重要	左が 重要	やや左 が重要	同左 と程度 が重要	やや右 が重要	右が 重要	かなり 右が 重要	
① 交通機能	7	5	3	1	1/3	1/5	1/7	② 空間機能
		○						
① 交通機能	7	5	3	1	1/3	1/5	1/7	③ 市街地形成機能
		○						
② 空間機能	7	5	3	1	1/3	1/5	1/7	③ 市街地形成機能
				○				

大項目	交通機能	空間機能	市街地形成機能
交通機能	1	5	5
空間機能	1/5	1	1
市街地形成機能	1/5	1	1

空間から見て交通のほうが重要なので、1/5となる（逆数）

<集計結果の例>

各項目の尺度を、関係課長職者、市民及び町会・自治会長ごとに幾何平均する。各レベルの要素間の重みづけを行い、その結果を用いて全体の重みづけを行う。次の表は、大項目における集計結果の例である。

大項目	交通機能	空間機能	市街地形成機能	幾何平均	重要度
交通機能	1	1 3/5	1 2/3	1.386941953	45%
空間機能	5/8	1	1 1/9	0.885765806	29%
市街地形成機能	3/5	8/9	1	0.813996999	26%

$$\sqrt[3]{1 \times 8/5 \times 5/3} = 1.386941953$$

$$1.38 / (1.38 + 0.88 + 0.81) \times 100 \div 45\%$$

② 関係課長職者の集計結果

大項目	交通機能	空間機能	市街地形成機能		幾何平均	重要度
交通機能	1	1 3/5	1 2/3		1.386941953	45%
空間機能	5/8	1	1 1/9		0.885765806	29%
市街地形成機能	3/5	8/9	1		0.813996999	26%

中項目①	通行機能	アクセス機能			幾何平均	重要度
通行機能	1	1 1/3			1.152587284	57%
アクセス機能	3/4	1			0.86761325	43%

中項目②	都市空間機能	都市防災機能			幾何平均	重要度
都市空間機能	1	2/3			0.825629464	41%
都市防災機能	1 1/2	1			1.211197085	59%

中項目③	土地利用の誘導形成機能	都市機能			幾何平均	重要度
土地利用の誘導形成機能	1	1 1/4			1.115940003	55%
都市機能	4/5	1			0.896105523	45%

小項目①－1	骨格幹線道路網の形成	都市間ネットワークの形成	円滑な物流の確保	交通処理機能の確保	幾何平均	重要度
骨格幹線道路網の形成	1	1	1 1/4	1	1.082906397	27%
都市間ネットワークの形成	1	1	1 1/5	1 2/7	1.108842568	28%
円滑な物流の確保	4/5	5/6	1	1	0.909670513	23%
交通処理機能の確保	1	7/9	1	1	0.915493095	23%

小項目①－2	救急医療施設へのアクセス向上	交通結節点へのアクセス向上	避難場所へのアクセス向上		幾何平均	重要度
救急医療施設へのアクセス向上	1	1 1/2	1 1/3		1.2738503	42%
交通結節点へのアクセス向上	2/3	1	3/4		0.787394436	26%
避難場所へのアクセス向上	3/4	1 1/3	1		0.99698647	33%

小項目②－1	都市環境の保全	良好な都市空間の創出	公共交通の導入空間		幾何平均	重要度
都市環境の保全	1	1 1/2	8/9		1.100959264	36%
良好な都市空間の創出	2/3	1	1		0.844244395	28%
公共交通の導入空間	1 1/8	1	1		1.075871898	36%

小項目②－2	緊急輸送道路の拡充	延焼遮断帯の形成	災害時の代替機能		幾何平均	重要度
緊急輸送道路の拡充	1	1 1/3	1 1/9		1.143778161	38%
延焼遮断帯の形成	3/4	1	1		0.91416419	30%
災害時の代替機能	1	1	1		0.956387728	32%

小項目③－1	都市の多彩な魅力の演出・発信	生活空間機能の確保	生活道路の安全性向上		幾何平均	重要度
都市の多彩な魅力の演出・発信	1	1/2	1/3		0.546554289	17%
生活空間機能の確保	2	1	2/3		1.100959264	33%
生活道路の安全性向上	3	1 1/2	1		1.661863857	50%

小項目③－2	都市骨格機能	街区形成機能	まちづくりへの貢献		幾何平均	重要度
都市骨格機能	1	5/7	1 1/2		1.03050458	33%
街区形成機能	1 3/8	1	1 5/6		1.363543727	44%
まちづくりへの貢献	2/3	1/2	1		0.711673843	23%

③ 市民の集計結果

小項目①－１	骨格幹線道路網の形成	都市間ネットワークの形成	円滑な物流の確保	交通処理機能の確保	幾何平均	重要度
骨格幹線道路網の形成	1	5/6	1 1/9	4/5	0.929722457	23%
都市間ネットワークの形成	1 1/5	1	1	1 1/7	1.102241661	27%
円滑な物流の確保	8/9	1	1	4/5	0.908115263	23%
交通処理機能の確保	1 2/9	7/8	1 1/4	1	1.074555576	27%

小項目①－２	救急医療施設へのアクセス向上	交通結節点へのアクセス向上	避難場所へのアクセス向上		幾何平均	重要度
救急医療施設へのアクセス向上	1	1 4/7	1 4/7		1.358214819	44%
交通結節点へのアクセス向上	5/8	1	6/7		0.814321137	26%
避難場所へのアクセス向上	5/8	1 1/6	1		0.9041403	29%

小項目②－１	都市環境の保全	良好な都市空間の創出	公共交通の導入空間		幾何平均	重要度
都市環境の保全	1	1 1/2	1 1/3		1.270048959	42%
良好な都市空間の創出	2/3	1	1 3/7		0.974776921	32%
公共交通の導入空間	3/4	5/7	1		0.807745039	26%

小項目②－２	緊急輸送道路の拡充	延焼遮断帯の形成	災害時の代替機能		幾何平均	重要度
緊急輸送道路の拡充	1	1 3/4	1 1/3		1.3221398	43%
延焼遮断帯の形成	4/7	1	8/9		0.799058699	26%
災害時の代替機能	3/4	1 1/8	1		0.946550823	31%

小項目③－１	都市の多彩な魅力の演出・発信	生活空間機能の確保	生活道路の安全性向上		幾何平均	重要度
都市の多彩な魅力の演出・発信	1	3/5	3/4		0.761313212	25%
生活空間機能の確保	1 5/7	1	5/6		1.125479336	37%
生活道路の安全性向上	1 1/3	1 1/5	1		1.167075918	38%

小項目③－２	都市骨格機能	街区形成機能	まちづくりへの貢献		幾何平均	重要度
都市骨格機能	1	1	6/7		0.920220077	31%
街区形成機能	1 1/9	1	1		1.054864871	35%
まちづくりへの貢献	1 1/6	1	1		1.030176091	34%

④ 町会長・自治会長の集計結果

小項目①－１	骨格幹線道路網の形成	都市間ネットワークの形成	円滑な物流の確保	交通処理機能の確保	幾何平均	重要度
骨格幹線道路網の形成	1	2 6/7	1 1/4	1	1.373027238	33%
都市間ネットワークの形成	1/3	1	4/7	1	0.670713045	16%
円滑な物流の確保	4/5	1 5/9	1	1 5/7	1.209652495	29%
交通処理機能の確保	1	1	4/7	1	0.873364303	21%

小項目①－２	救急医療施設へのアクセス向上	交通結節点へのアクセス向上	避難場所へのアクセス向上		幾何平均	重要度
救急医療施設へのアクセス向上	1	5/7	3/5		0.762556827	25%
交通結節点へのアクセス向上	1 3/8	1	3/5		0.94507922	31%
避難場所へのアクセス向上	1 5/8	1 5/8	1		1.387584922	45%

小項目②－１	都市環境の保全	良好な都市空間の創出	公共交通の導入空間		幾何平均	重要度
都市環境の保全	1	2 2/7	1		1.348024873	43%
良好な都市空間の創出	3/7	1	4/5		0.705075915	23%
公共交通の導入空間	1	1 1/4	1		1.052122273	34%

小項目②－２	緊急輸送道路の拡充	延焼遮断帯の形成	災害時の代替機能		幾何平均	重要度
緊急輸送道路の拡充	1	5/8	3/4		0.780491736	26%
延焼遮断帯の形成	1 4/7	1	4/5		1.082115592	36%
災害時の代替機能	1 1/3	1 1/4	1		1.184017268	39%

小項目③－１	都市の多彩な魅力の演出・発信	生活空間機能の確保	生活道路の安全性向上		幾何平均	重要度
都市の多彩な魅力の演出・発信	1	1/2	1/2		0.629755992	20%
生活空間機能の確保	1 5/6	1	5/6		1.157753673	37%
生活道路の安全性向上	2 1/6	1 1/5	1		1.371549621	43%

小項目③－２	都市骨格機能	街区形成機能	まちづくりへの貢献		幾何平均	重要度
都市骨格機能	1	1/2	1		0.830096046	27%
街区形成機能	1 5/6	1	1 1/2		1.394722549	45%
まちづくりへの貢献	1	2/3	1		0.863741592	28%

⑤ 全体の集計結果

大項目	交通機能	空間機能	市街地形成機能		幾何平均	重要度
交通機能	1	1 3/5	1 2/3		1.386941953	45%
空間機能	5/8	1	1 1/9		0.885765806	29%
市街地形成機能	3/5	8/9	1		0.813996999	26%

中項目①	通行機能	アクセス機能			幾何平均	重要度
通行機能	1	1 1/3			1.152587284	57%
アクセス機能	3/4	1			0.86761325	43%

中項目②	都市空間機能	都市防災機能			幾何平均	重要度
都市空間機能	1	2/3			0.825629464	41%
都市防災機能	1 1/2	1			1.211197085	59%

中項目③	土地利用の誘導形成機能	都市機能			幾何平均	重要度
土地利用の誘導形成機能	1	1 1/4			1.115940003	55%
都市機能	4/5	1			0.896105523	45%

小項目①－1	骨格幹線道路網の形成	都市間ネットワークの形成	円滑な物流の確保	交通処理機能の確保	幾何平均	重要度
骨格幹線道路網の形成	1	1 1/4	1 1/5	1	1.106123396	28%
都市間ネットワークの形成	4/5	1	1	1 1/6	0.97642376	24%
円滑な物流の確保	5/6	1	1	1 1/9	0.976433023	24%
交通処理機能の確保	1	6/7	1	1	0.941745636	24%

小項目①－2	救急医療施設へのアクセス向上	交通結節点へのアクセス向上	避難場所へのアクセス向上		幾何平均	重要度
救急医療施設へのアクセス向上	1	1 2/7	1 1/7		1.138595247	38%
交通結節点へのアクセス向上	7/9	1	3/4		0.831116973	27%
避難場所へのアクセス向上	7/8	1 1/3	1		1.056740816	35%

小項目②－1	都市環境の保全	良好な都市空間の創出	公共交通の導入空間		幾何平均	重要度
都市環境の保全	1	1 2/3	1		1.200232044	40%
良好な都市空間の創出	3/5	1	1		0.836602913	28%
公共交通の導入空間	1	1	1		0.995899262	33%

小項目②－2	緊急輸送道路の拡充	延焼遮断帯の形成	災害時の代替機能		幾何平均	重要度
緊急輸送道路の拡充	1	1 1/5	1		1.077909556	36%
延焼遮断帯の形成	5/6	1	1		0.921987827	31%
災害時の代替機能	1	1	1		1.006218947	33%

小項目③－1	都市の多彩な魅力の演出・発信	生活空間機能の確保	生活道路の安全性向上		幾何平均	重要度
都市の多彩な魅力の演出・発信	1	1/2	4/9		0.615177683	19%
生活空間機能の確保	1 8/9	1	3/4		1.121047588	35%
生活道路の安全性向上	2 1/4	1 1/3	1		1.450024631	46%

小項目③－2	都市骨格機能	街区形成機能	まちづくりへの貢献		幾何平均	重要度
都市骨格機能	1	5/7	1 1/5		0.949030075	31%
街区形成機能	1 2/5	1	1 1/2		1.286043616	42%
まちづくりへの貢献	5/6	2/3	1		0.819340319	27%

(3) まとめ

集計結果をもとに、項目ごとに係数を入れ、重みづけをした結果は、次のとおりである。

大項目		中項目		小項目		重み	重み 四捨五入
機能	係数	機能	係数	機能	係数		
交通機能	0.45	通行機能	0.57	①骨格幹線道路網の形成	0.28	7.09	7
				②都市間ネットワークの形成	0.24	6.26	6
				③円滑な物流の確保	0.24	6.26	6
				④交通処理機能の確保	0.24	6.03	6
		アクセス機能	0.43	⑤救急医療施設へのアクセス向上	0.38	7.26	7
				⑥交通結節点へのアクセス向上	0.27	5.30	5
				⑦避難場所へのアクセス向上	0.35	6.74	7
空間機能	0.29	都市空間機能	0.41	⑧都市環境の保全	0.40	4.60	5
				⑨良好な都市空間の創出	0.28	3.21	3
				⑩公共交通の導入空間	0.33	3.82	4
		都市防災機能	0.59	⑪緊急輸送道路の拡充	0.36	6.12	6
				⑫延焼遮断帯の形成	0.31	5.23	5
				⑬災害時の代替機能	0.33	5.71	6
市街地形成機能	0.26	土地利用の誘導形成機能	0.55	⑭都市の多彩な魅力の演出・発信	0.19	2.82	3
				⑮生活空間機能の確保	0.35	5.15	5
				⑯生活道路の安全性向上	0.46	6.66	7
		都市機能	0.45	⑰都市骨格形成	0.31	3.65	4
				⑱街区形成機能	0.42	4.95	5
				⑲まちづくりへの貢献	0.27	3.15	3
						100.00	100.0

(4) その他

アンケート調査票には自由意見欄は設けていないが、欄外に記載された意見があった。主な意見概要は、次のとおりである。

<主な意見概要>

アンケート内容について
・2項比較では全体的な比較やウェイト付けができない。 ・環境面の項目がないため、アンケートに答える意味が見出せない。 ・一般論のアンケートには答える意味が見出せない。 ・一般論のアンケートでは市民の具体的な意見が反映されにくい。 ・アンケートの設計が不適切で、回答が難しい。左右の選択肢のみで解決できる問題でない。 ・アンケートの構造がおかしく、自分の立ち位置を反映した回答ができない。 ・アンケートには「地球温暖化」を意識した項目が必要だ。 ・アンケートの目的が道路建設に誘導しようとしていると感じられて不安だ。 ・重要すぎて判断しかねる。
その他
・2路線の道路計画への反対意見を反映するための回答が難しい。 ・賛成と反対の意見を分けて適切に収集し反映する仕組みが必要だ。 ・市民との対立を避け、協力して問題解決に取り組む必要がある。 ・都市間ネットワークや物流等の理由で大規模道路が必要とは考えていない。 ・将来の環境、人口、テクノロジーの進化を考慮しスロースモールな公共交通の整備が重要だ。 ・交通量を増やす道路は不要で、将来の交通量減少やモビリティの変化を踏まえ判断すべきだ。 ・小規格の自転車専用道等が目指す姿であると考える。 ・災害時の緊急輸送も将来道路だけの輸送とは考えられない。土砂災害の危険は低い。 ・まちなぎわいにとって大規模な道路はむしろ害が多いと考える。 ・自然環境を守ることを強く希望する。 ・市民の意見をしっかり聞き、意見交換ができる場を設けるべきだ。 ・物流について、将来ドローンや自動運転配送等はかたに進化し、大規格道路は不要だ。 ・連雀通りから小金井街道へ右折する車が、増加し右折レーンが不足して直進車も直進できず、ひどい渋滞が発生している。右折信号の時間を延長するだけでもかなり渋滞緩和できるので、早急に検討してほしい。